



これは便利！iOSアプリ活用術

鈴江病院 脳神経外科 七條 文雄

＜21＞ iOS 15 / iPadOS 15 の翻訳機能を活用しよう！

はじめに

今回は、ウェブブラウザでの翻訳機能を主体に紹介させていただきます。ウェブブラウザとは、インターネットのWebページを閲覧するためのアプリケーションソフトの事です。iPhoneやiPadの標準ウェブブラウザとしては、【Safari（サファリ）】があります。

さて、2021年9月21日午前2時よりiPhone用のOS（オペレーティングシステム）としてiOS 15が、iPad用のOSとしてiPadOS 15が正式にリリース開始となりました。今回は、新しいOSの機能の中で、日頃の臨床に応用可能なSafariでの【翻訳機能】を主体に紹介させていただきます。

1. iOS 15 / iPadOS 15（以下共通にOS 15として表示）へのアップグレード方法

iPhone もしくは iPad のホーム画面で【設定】のアイコンをタップします。画面の中から【一般】（図1-Aの赤○）のボタンをタップし、次の画面で【ソフトウェア・アップデート】（図1-Bの青○）をタップします。すると、図2の様な画面が表示されます。今回からは、OS 14のままで、セキュリティやバグのアップデートのみを希望する場合は、上段赤○の【ダウンロードしてインストール】ボタンを押して下さい。OS 15にアップグレードしたい場合は、下段青○の【OS 15にアップグレード】ボタンを押して下さい。今回紹介する【翻訳機能】は、OS 15から利用可能となっています。なお、OSの更新には、Wi-Fi環境下が必要となっています。また、更新にあたっては、個人の責任の下に必ずバックアップ等の準備はしておいて下さい。



図 1：【設定】画面の操作方法（本文参照）



図 2：アップデート／アップグレード画面（本文参照）

2. Safariでの翻訳機能の紹介

まず、Safariのアイコンをタップし、Safariを起動してみてください。今回のOS 15からは、アドレスバー（Webのアドレスや検索項目を入力する欄）の位置がiPhoneでは、下段にタブバーと一体化して表示され、iPadでは従来通りの上段に表示されるように変更されています。図3-AはiPhoneのSafariでみた徳島市医師会のホームページ¹⁾画面です。iPhoneでアドレスバーを上段に表示したい場合は、下段のアドレスバー左端の【ああ】部（図3-A赤○）をタップします。すると、図3赤枠の様な欄が表示されますので、【上のアドレスバーを表示】をタップしますと、図3-Bの様な従来の表示形式でWeb画面が表示されます。また、アドレスバーを下段に戻す場合は、同様の操作で上段のアドレスバー左端の【ああ】部（図3-B青○）をタップします。すると、図3青枠の様な欄が表示されますので、【下のタブバーを表示】をタップしますと、図3-Aの様な初期設定の表示形式でWeb画面が表示されます。



図3：iPhoneのSafariでの表示画面例（徳島市医師会ホームページ）

それでは徳島市医師会ホームページで【予防接種について】をタップして案内画面を表示してみてください²⁾ (図4)。次にアドレスバー左の【ああ】(図4 赤○)をタップして表示された枠内で【英語に翻訳】の部分(図5 青○)をタップしてみてください。図6は、タップ後の画面です。アドレスバーの左端には、【翻訳記号】(図6 赤○)が表示され、ほぼ瞬時で、Web画面全体が英語表記に変換されます。この翻訳は、再度【翻訳記号】(図6 赤○)をタップすると表示される欄から【オリジナルを表示】を選択すると元の原文が表示されます。

この機能により、皆さんの病院のホームページも簡単に英語で閲覧可能となります。

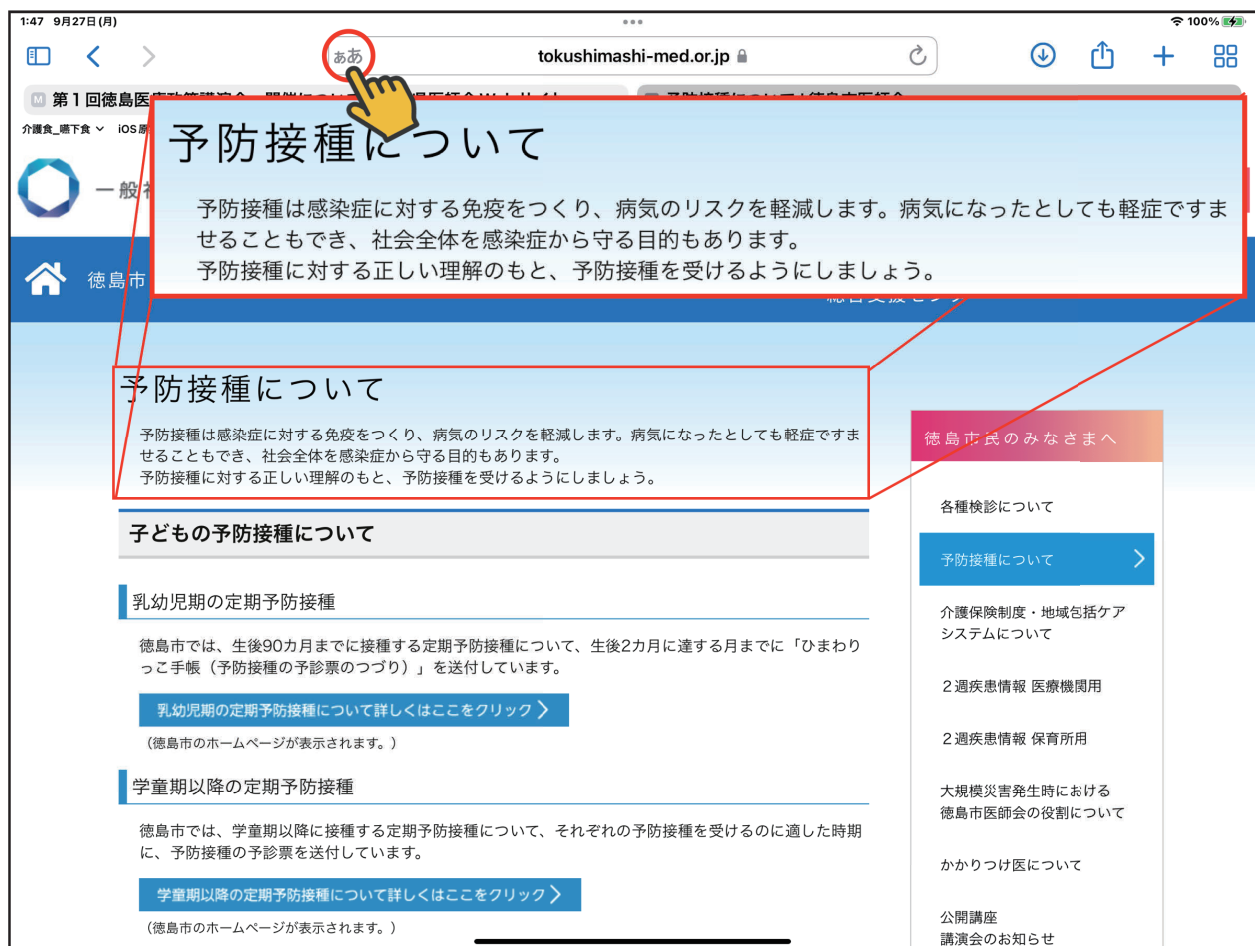


図4：徳島市医師会ホームページの中の【予防接種について】の案内画面

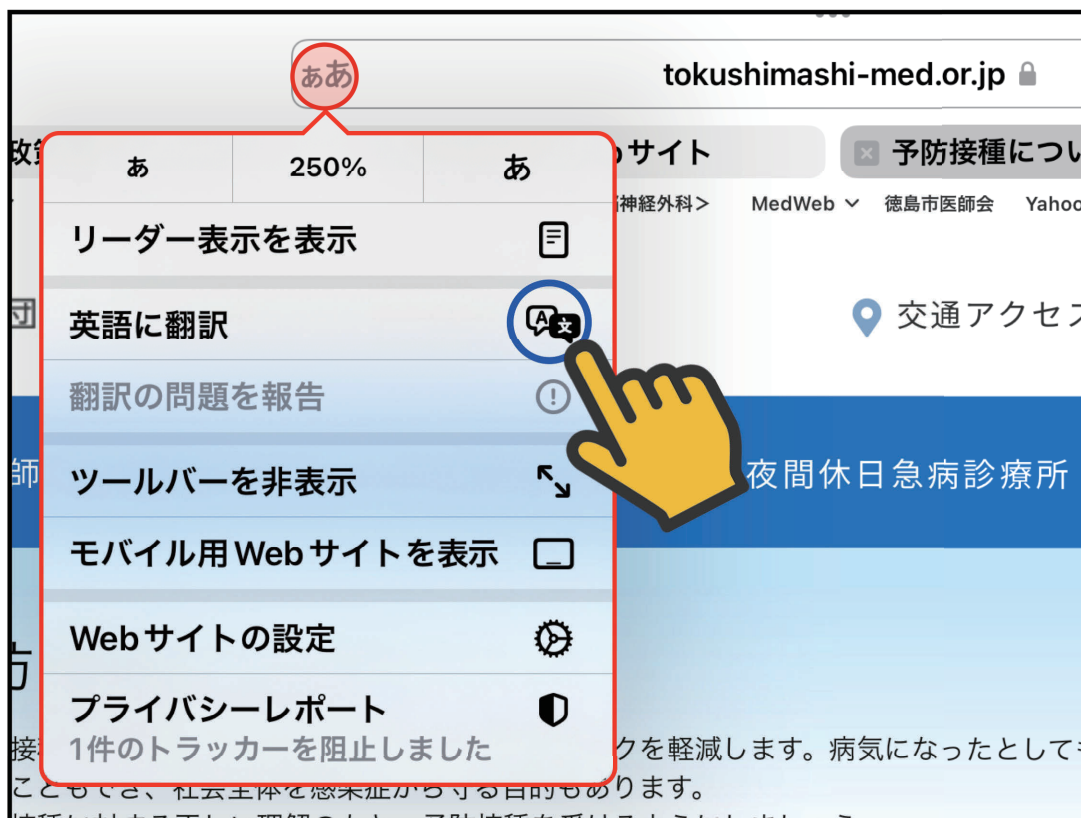


図5：アドレスバー左端の【ああ】部をタップ後の画像

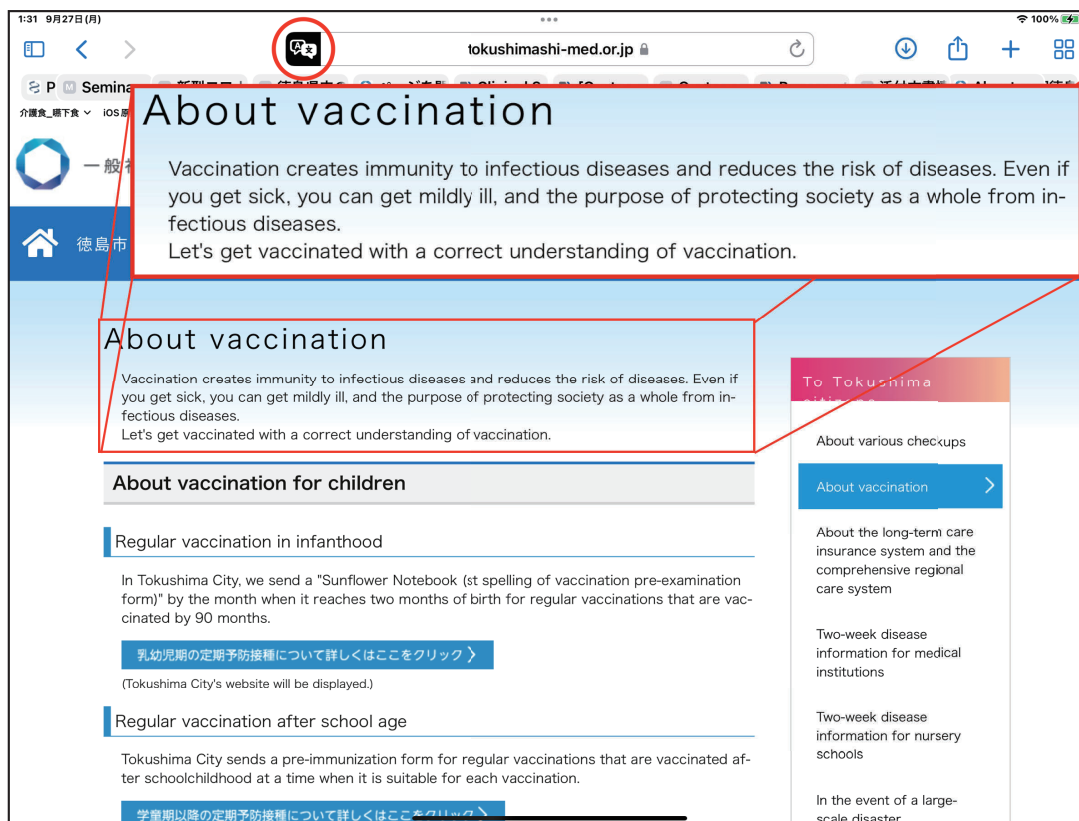


図6：図4の翻訳処理後の画面表示

3. 文献検索について

次に海外の文献検索について紹介します。まずは、SafariからPubMed³⁾ を起動してみてください。次に、『covid-19 vaccine』で検索してみてください。図7は『[Comment] COVID-19 vaccine safety』⁴⁾ の Free PMC article をFull textで表示した一部を示したものです。iPad の「Split View (スプリットビュー)」機能を利用して左に原文を、右には翻訳画面を表示しています。翻訳文は比較的自然的な日本語表記になっているかと思われます。皆さんの臨床領域に関連した文献で試してみてください。

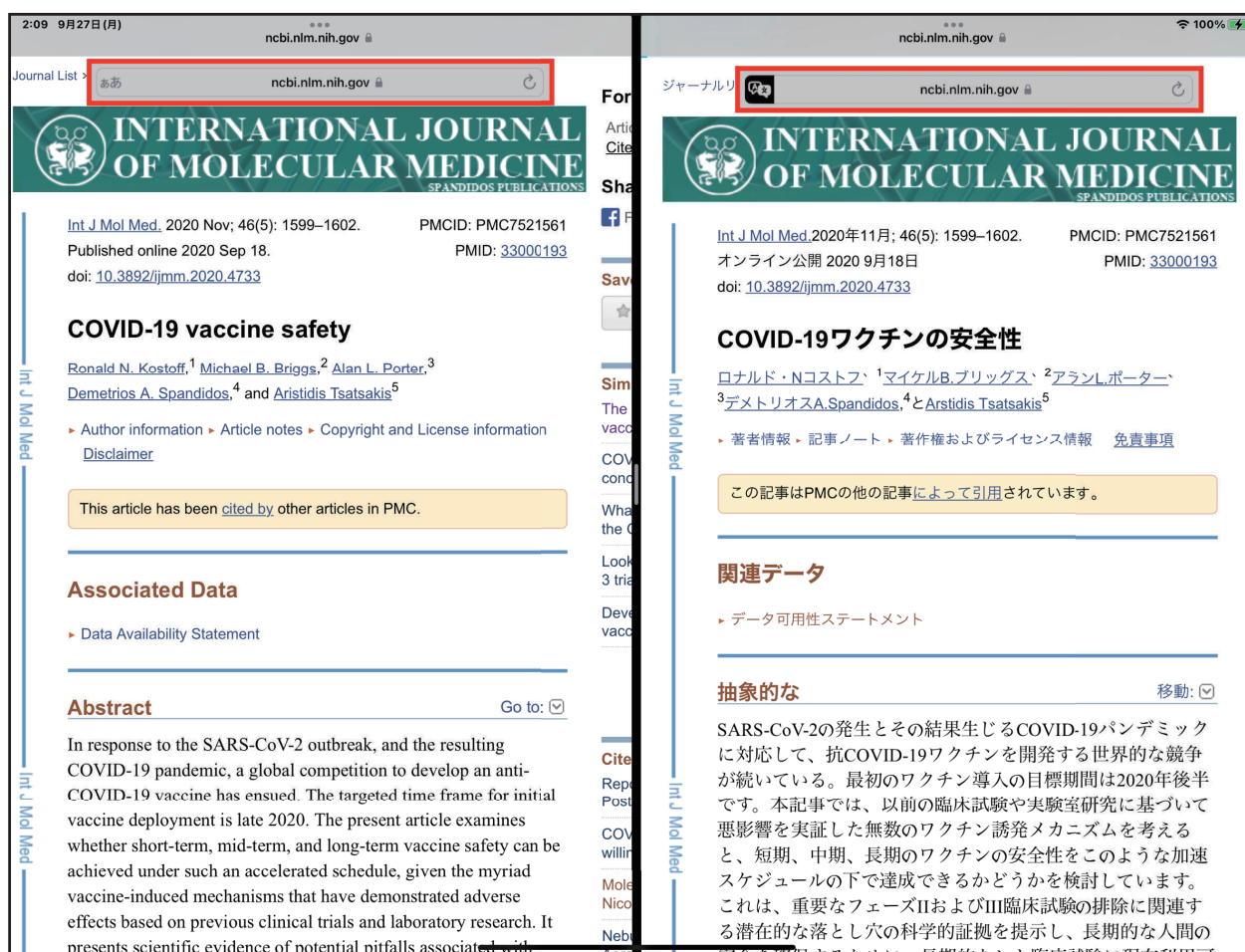


図7：文献翻訳例－1

図8は、中国語で表記された文献⁵⁾ の翻訳例を表示したものです。現在、OS 15の翻訳機能が利用できる言語は、アラビア語、中国語（北京語）、英語（US/UK）、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語となっています。興味がある方は、様々な言語で試してみてください。



図8：文献翻訳例－2

4. テキストの翻訳機能

次にテキストの翻訳機能を紹介します。iPhoneやiPadの画面上では、テキストをダブルタップすると単語が、トリプルタップすると段落が選択されます。細かな修正は起点と終点をドラッグして移動することが出来ます（図9）。選択されたテキスト上部に帯状に処理項目が表示されますので、翻訳を選択します（図9 赤○）。この操作により処理ウィンドウ枠が出現し、枠内に翻訳結果が表示されます。下段まで移動し、【言語を変更】をタップすると、翻訳可能な言語が表示され、希望言語を選択すると、新たな翻訳が行われます（図9参照）。

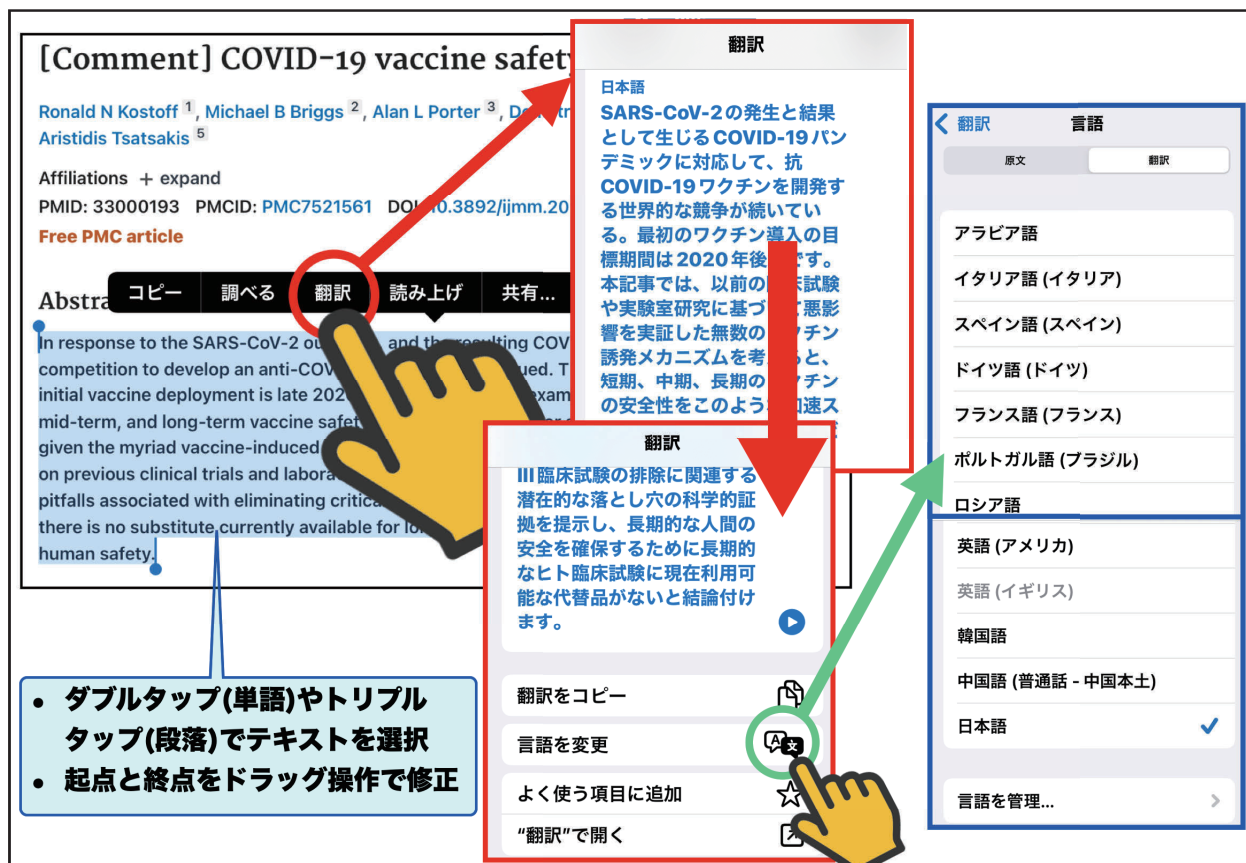


図 9：画面からのテキスト選択と選択部の翻訳機能の紹介

5. 英文抄録や英語論文の簡易作成方法

iPhoneやiPadの標準ワープロアプリとしては、【Pages】があります。このPagesを使用して、安易な日本語で抄録や、論文の原稿を書きます。次に、出来上がった文章をiPadの画面上に表示して、翻訳部位のテキストを選択します。図10は、本原稿の『はじめに』の文章の翻訳を試みたものです。翻訳文下段のスタートボタンをタップすると、翻訳された言語での発声（読み上げ）も行われます。翻訳文のコピーも可能です。また、言語を変更することも可能となっています。最下段の【“翻訳”で開く】をタップすると、OS 14からの標準アプリとなった【翻訳】アプリが起動し、翻訳前後の文章が上下に表示されます(図11)。図11では、その正確性のチェックの為に、翻訳された英語文を再度日本語に翻訳した例（逆翻訳）を示しています。（【翻訳】アプリ自体の紹介は別の機会に行います。）

なお、iPhoneやiPadでの【Word】の原稿の翻訳は、Wordの文章を【Pages】で読み込んだ後、上述の操作を行えば、安易に操作可能と著者は考えています。

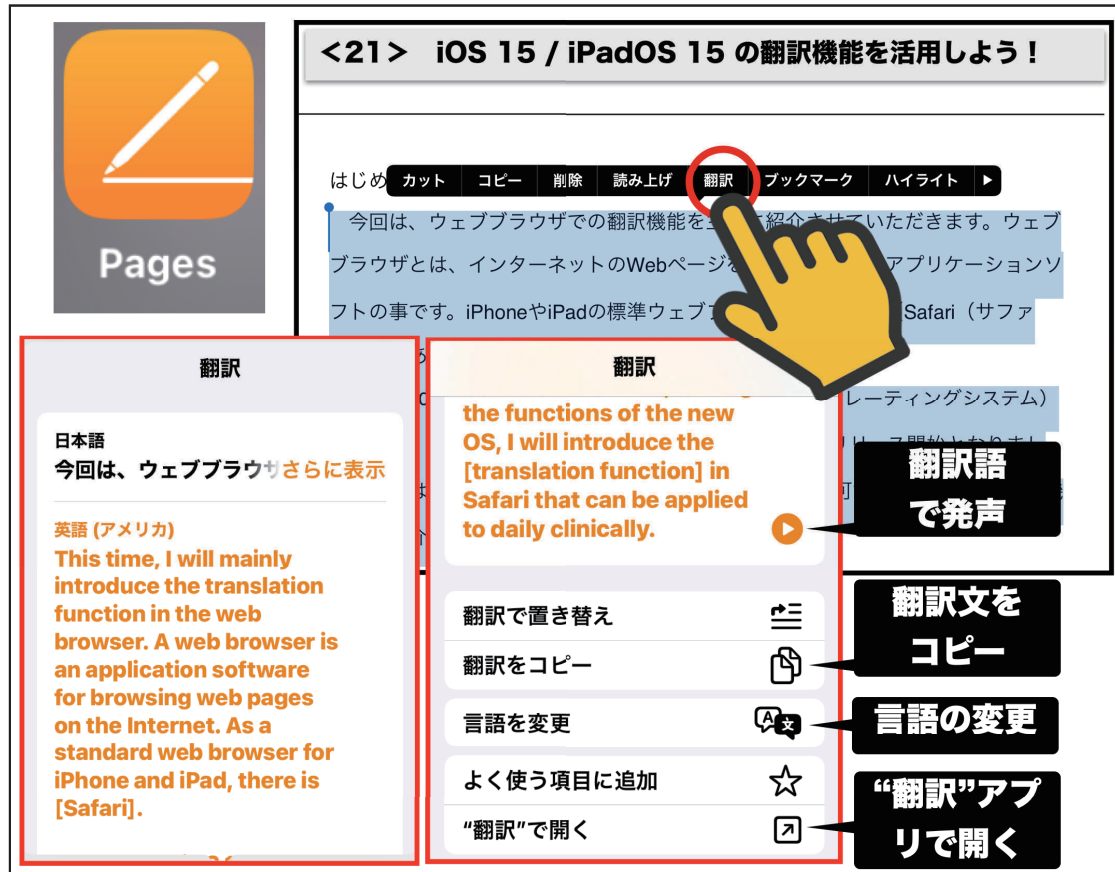


図 10：本原稿の英文翻訳例

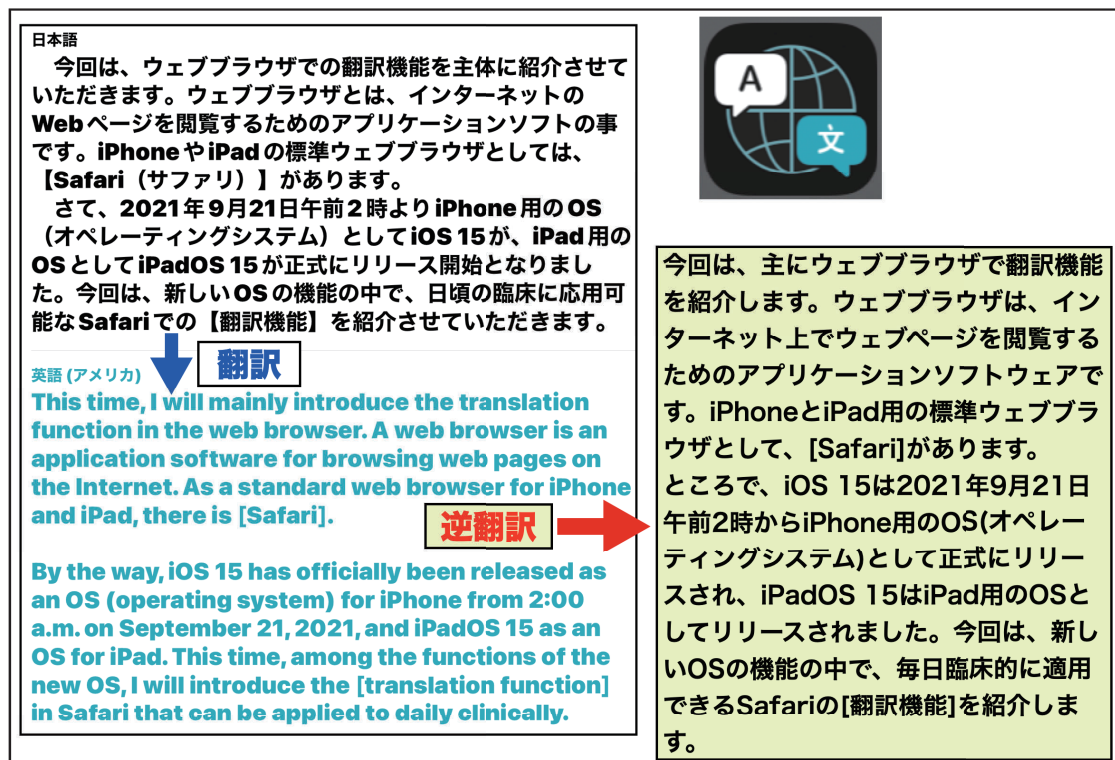


図 11：『はじめに』の翻訳と逆翻訳例（【翻訳】アプリで表示）

6. Google関連のブラウザでの翻訳機能

iPhoneやiPadで利用できるGoogle関連のブラウザで翻訳機能を有したものには、【Googleアプリ】と【Google Chrome】があります。前者での翻訳表示例が図12左、後者での翻訳表示例が図12右となります。紙面の関係上、詳細は省きますが、興味がある方は、これらのアプリでの翻訳も試みて下さい。優劣でいえば、翻訳可能言語の種類数は、Googleのアプリが優れていますが、翻訳文章の内容自体はOS15と大差がないように思われます。



図 12 : Google ブラウザと Chrome ブラウザでの翻訳処理例

おわりに

iOS 15とiPadOS 15 に新たに装備された翻訳機能に関して、紹介させていただきました。先生方ご自身で、様々な使用方法を考えてみて下さい。

参考文献 と URL (下線表示)

1. <https://www.tokushimashi-med.or.jp>
2. <https://www.tokushimashi-med.or.jp/yobou>
3. <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov>
4. Kostoff RN, Briggs MB, Porter AL, et al. : [Comment] COVID-19 vaccine safety. Int J Mol Med, 46(5) : 1599-1602, 2020.

5. Qiu F, Wang H, Zhang Z, et al. : [Laboratory testing techniques for SARS-CoV-2] [Article in Chinese]. Nan Fang Yi Ke Da Xue Xue Bao, 40(2) : 164-167, 2020.

今回使用のOS (令和3年9月30日現在)
iOS 15.0, iPadOS 15.0